

ジョリパットマテリアルシリーズ
ラディーチェ仕上げ
施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m ² (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m²</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪酸系シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> (<u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u>) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> (<u>...数字</u>) 特注色 <u>JP(W)-100</u> (<u>...英字、...数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約5 m ²
骨材	JF-66	ミックス骨材 A	10kg/袋入り	約17 m ²
	JF-67	ミックス骨材 B	21kg/袋入り	約14 m ²

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・あやめローラー (ジョリパットローラー JR - 30 : 7インチ)
- ・隅用ローラー (ジョリパットローラー JR - 25)
- ・JR - 77 (糊刷毛)
- ・JR - 75 (スポンジローラー大、小)
- ・リシガン 口径 4 ~ 6 mm
- ・コンプレッサー 3馬力(2.2kw)以上 (1台使用の場合)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<ラディーチェ仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	<u>JP(W)-100シリーズ*</u>	20kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	約0.9kg/m ²	
吹 圧 力	5~7kgf/cm ² (0.51~0.71MPa)	
使用ガン	リシンガン口径	4~6mm
左官業者の場合は、ジョリパットを無希釈で0.9kg/m ² となるよう金ゴテにて平滑に塗布してください。		

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	<u>JP(W)-100シリーズ*</u>	20kg
	JF-66(ミックス骨材A)	4kg
	JF-67(ミックス骨材B)	10kg
	清 水	1ℓ
塗 布 量	約5.0kg/m ²	
金ゴテまたはローラーにて上記配合のジョリパットを約5kg/m ² になるよう配り塗り。		

追いかけて

4. パターン付け

・あやめローラー（JR-30）に上記配合ジョリパットを十分に含ませ、次にあやめローラーを横に転がし塗布量が均一となるようムラ切りした後、弧を描くようにあやめローラーをひきずるようにパターン付けしてください。このときパターンが揃わないよう注意。（図-1,2）

追いかけて（5分以内）

5. 刷毛押さえ

・水に糊刷毛（JR-77）を浸した後、十分に水を切り、壁面に寝かして、パターンに添って軽く押えてください。このとき水を十分に切っていない場合、水が垂れるため注意してください。

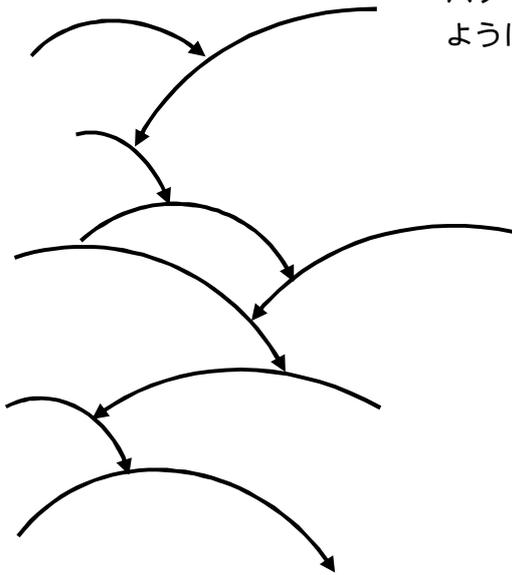
追いかけて（5分以内）

6. スポンジローラー押さえ

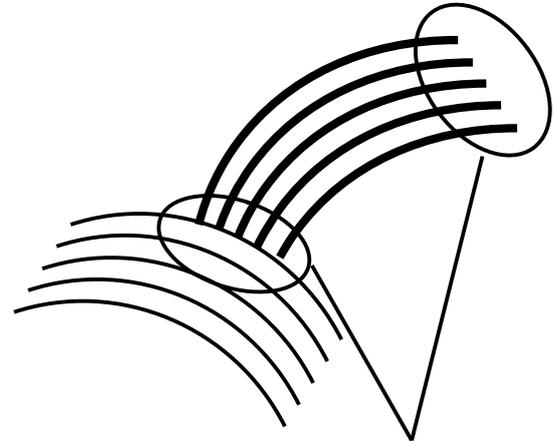
・パターン付けを行なった後、スポンジローラー（JR-75）をパターンにそって軽く転がし水を吸い取ってください。

<施工のポイント>

- ・パターンの端が重なるように施工して下さい。



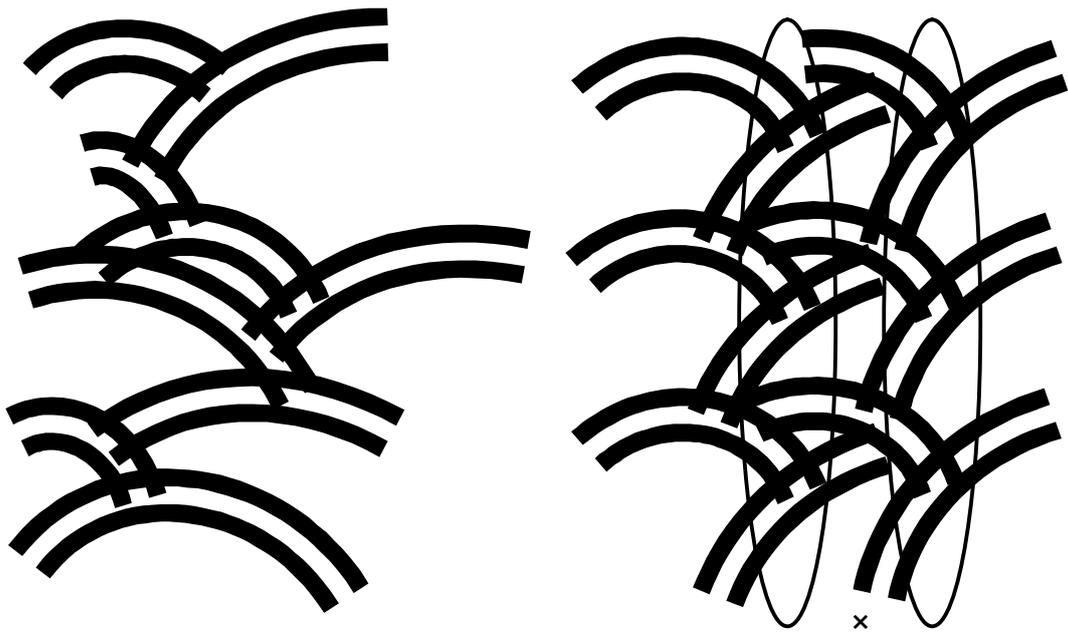
ローラーの動きの一例



この部分のパターンが重なるようにパターン付けを行ってください。

図 - 1

- ・あやめローラーがあまり回転しないよう、ローラーを引きずるような感覚でパターンを付けてください。
- ・あやめのパターン付けは、大きい弓状模様と小さい弓状模様がたくさん重なりあうように組み合わせてください。
- ・あやめローラーは常に上から下方向に転がし、弓状模様をランダムに付けてください。
(矢印の動き)
- ・パターンが規則正しくならないよう注意してください。



パターンの谷が揃わないよう注意。

図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・ 配り塗りはできるだけ均一にしてください(パターンを均一にする為)。
- ・ 塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。
- ・ あやめローラーJR-30(パターンローラー)にもジョリパットを充分含ませる。
- ・ 糊刷毛(JR-77)は、力を入れずパターンにそって軽くおさえてください(強く押さえると模様が潰れてしまいます)。
- ・ 糊刷毛は水につけた後、充分に水を切ってください。水が残っている刷毛で押えると、水がたれ、色が変わる場合があります。
- ・ この仕上げは天然石を使用している為、見本と色目が異なる事があります。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。
- ・ 気温5 以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のためJS-410をご使用下さい。
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下ではJPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上